

中部地方整備局の防災に関する取組を紹介

【平成30年度 愛知県・東浦町津波・地震防災訓練】

～平時から備える自助、共助、公助～



中部地震津波対策
技術センター

中部技術事務所

「津波防災の日（11月5日）」をひかえ、平成30年10月28日、東浦町営グラウンドで開催された愛知県・東浦町主催の津波・地震を想定した防災訓練に参加し、中部地方整備局の取組について広報活動を行いました。

中部技術事務所からは、津波浸水被害の際に排水作業で活躍する【排水ポンプ車】を出展しました。



8月26日の津島市での訓練に続いて、今回も大村愛知県知事が観閲にみえました。



被災状況調査をする
国土交通省の
道路パトロールカー



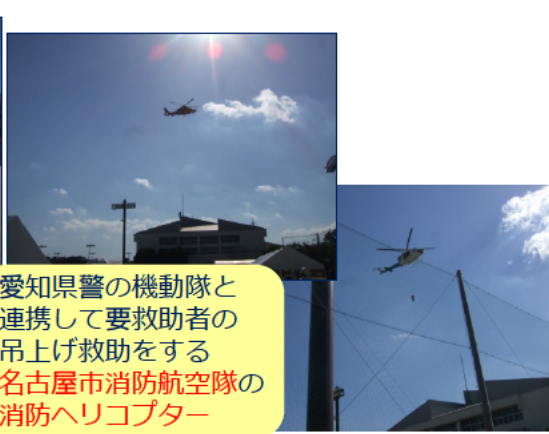
負傷者を搬送する
陸上自衛隊の
大型救急車



倒壊家屋やがれきからの救助訓練



通信業者による
車載型基地局設営



愛知県警の機動隊と
連携して要救助者の
吊上げ救助をする
名古屋市消防航空隊の
消防ヘリコプター

訓練は、44の機関、約2000人の参加により実施されました。

国土交通省では、大規模災害などにより地方自治体等が被災した際にTEC-FORCE（緊急災害対策派遣隊）を派遣し、災害活動の支援を行っています。
保有する災害対策用車両を現場に派遣し、応急復旧作業を行うのも支援活動の1つです。

